PUBLICITY NEWS 92

学院広報
2015.8.17

平安女学院がマスコミに報道されました！！

国際観光学部の前川さんが「安保法制」に一言
毎日新聞
2015. 7. 15

他国と平和へ議論を

安保法制 ～私も一言

戦争は全ての人を不幸にする。戦争で中国などに出撃。昨年90歳で亡くなり、「勇んで行くやつだ」と殺された」との言葉が印象的だった。

「国を守るためと言って他国の人を傷つけていいのだろうか」。他国に攻撃されたらやり返す発想自体に疑問がある。政府は、最悪の事態を想定して安保法制が必要だと主張するが、納得がいかない。「そうなる前に他国と平和的な話し合いで仲直りすればいい」。安倍首相への注文は簡潔だ。「絶対に戦争にならないと安心できる内容の答弁を国会ですれば国民も納得するのでは」【川瀬慎一朗】

京都市右京区、平安女学院大2年
前川あい子さん(19)

国際観光学部浴衣デー
毎日新聞
2015. 7. 16

雑記帳

◇祇園祭（前祭）の山鉾巡行を2日後に控えた15日、平安女学院大国際観光学部（京都市）の学生ら約200人が浴衣姿で講義を受けた＝写真。

◇祭りを少しでも盛り上げようと学生が発案。今回で3回目になり、大学の恒例行事になりつつある。大学では着付けも学んでおり、浴衣姿で登校した学生が目立った。

◇この日の京都市の最高気温は35・1度と3日連続の猛暑日になったが「浴衣姿だと涼しげで、気持ちも引き締まる」と学生ら。講義で集中した後は早速、山鉾が路上に並ぶ「宵々山」に繰り出した。【川瀬慎一朗、写真も】

新井満氏を迎え、学院創立140周年記念イベント

毎日新聞 2015. 6. 3

「千の風になって」を歌う新井満さん＝京都市上京区の平安女学院で

「千の風」制作逸話紹介

作家新井満さん講演会
平安女学院

「千の風になって」などで知られる作家の新井満さんが5月30日、京都市上京区の平安女学院で「講演と朗読と歌唱の午後」と題し講演した。

新井さんは1946年、新潟市生まれ。88年に「尋ね人の時間」で芥川賞を受賞し、2007年に訳詞、作曲した「千の風になって」でレコード大賞作曲賞を受賞した。

講演で新井さんは妻を亡くした新潟市の幼なじみを勇気づけるために「千の風になって」を制作したというエピソードを紹介。幼なじみの妻への追悼文集の中にあった、死者が生者を励ます英語のポエムに心を打たれ翻訳し作曲したという。

新井さんが曲の制作の経緯を話し同曲を朗読し歌うと来場者らは大きな拍手を送った。

新井さんは「死者の目線から生きている人へのメッセージがある歌は本当に珍しい。死者の分まで元気に生きることが最高の供養になる」と話した。【村田拓也】

「信長の謎」をテーマに、旧二条城跡を狂言師の茂山逸平さんがレポート

KBS 京都「京都不思議物語」2015. 7. 10

「古都の近代建築」を代表するものとして学院の文化財を世界に紹介

NHK 国際放送「CORE KYOTO」2015. 5. 21